

プラチナ
コンサート・シリーズ
Platinum Concert Series
Vol. 22

Program

デラックア: ヴィラネル

E. Dell'Acqua: Villanelle

ベルク: ナイチンゲール ~「初期の7つの歌」より

A. Berg: Sieben frühe Lieder - Die Nachtigall

サン=サーンス: “ナイチンゲールと薔薇”

~付随音楽「パリスアティス」より

C. Saint-Saëns: Parysatis - Le rossignol et la rose

ビショップ: ご覧なさい、やさしいヒバリが

H. Bishop: Lo! Here the Gentle Lark

早坂文雄: うぐひす

~「春夫の詩に拠る四つの無伴奏歌曲」より

Fumio Hayasaka: 4 Songs on Poems, No.1 Uguisu (Nightingale)

W.A. モーツァルト: モテット「エクスルターテ・ユビラーテ
(踊れ、喜べ、幸いなる魂よ)」KV.165(158a)

W. A. Mozart: Exsultate jubilate KV.165(158a)

ヘンデル: “つらい運命に涙は溢れ”

~「ジュリオ・チェーザレ」HWV17より

G.F. Händel: Giulio Cesare in Egitto HWV 17

"E pur così in un giorno... Piangerò la sorte mia"

ヘンデル: “小舟は海で戯れ”

~歌劇「ロタリオ」HWV26より

G.F. Händel: Lotario HWV26 "Scherza in mar la navicella"

ヴェルディ: “愛しい人の名は”~歌劇「リゴレット」より

G. Verdi: Rigoletto "Caro nome"

ストラヴィンスキー: “トムからは何の便りもない”

~歌劇「放蕩児の遍歴」より

I. Stravinsky: The Rake's Progress

"No Words from Tom, I go to him"

ほか

期待のソプラノ
東京リサイタル・デビュー!

安川みく



©T. Tairadate

ピアノ: 松岡 あさひ

Asahi Matsuoka, Piano

ソプラノ・リサイタル

MIKU YASUKAWA DEBUT RECITAL IN TOKYO

2026. 1/23 (金) 19:00 開演 (開場18:30) 榎 HAKUJU HALL

7:00 p.m., Friday, January 23, 2026 at Hakuju Hall

全席指定 ¥4,000 (税込)

〈お問合せ・お申込〉

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:302-808]

主催: ジャパン・アーツ / Hakuju Hall / 株式会社 白寿生科学研究所

©CMR-Photography

2025. 7/26 (土)
前売開始

ジャパン・アーツぴあ
オンラインチケット

7/19 (土)

ソプラノとしてこれまで様々な作品と向き合う中で、とりわけ「鳥」をモチーフとした作品に心惹かれてきました。ひばり、ウグイス、ナイチンゲールといった鳥たちの美しい姿と鳴き声は、時代や国を越えて多くの作曲家に愛され、多彩なかたちで音楽に表現されています。そうした作品に取り組む中で、ソプラノという“楽器”の可能性を模索してきました。今回の演奏会では、前半に各国で生まれた鳥にまつわる歌曲を、後半には現在拠点としている英国で取り組んできたヘンデルのオラトリオ、古典派モーツァルトのモテット、そしてロマン派から近代のオペラ・アリアなどを中心に、ピアニストに松岡あさひさんをお迎えしてお届けします。会場で、色”鳥々”の景色を皆さまと共有できることを楽しみにしております。

安川みく

安川みく(ソプラノ) Miku Yasukawa, Soprano

徳島県出身。国立音楽大学、東京藝術大学大学院を経て、英国ギルドホール音楽院アーティストディプロマ課程を最優秀の成績で修了。Gold Medal 2023ファイナリスト(バービカンセンター)。

2019年より拠点をイギリスと日本とし、これまで、ジョナサン・ノット、リチャード・ファーンズ、鈴木雅明、藤岡幸夫、飯森範親、バッハコレギウムジャパン、東京交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル金沢、パシフィックフィルハーモニア東京など国内のオーケストラの他、ボーンマス交響楽団、バーミンガム市交響楽団(CBSO)、ノドラー管弦楽団、マカオ管弦楽団等と共演。

宗教曲、オーケストラ作品に多く出演するほか、オペラでは2022年Hurn Court Opera《ドン・バスクワレ》ノリーナ役でイギリス南部クライストチャーチ及びソールズベリーにてデビュー。同年に刊行されたOpera Now Magazineでは五つ星という最高評価を獲得した。

2024年1月にソプラノを務めた鈴木雅明指揮バッハ・コレギウム・ジャパンのブラームス《ドイツ・レクイエム》はBIS RecordsよりCDがリリース。同年4月には山田和樹が指揮するバーミンガム市交響楽団と初共演、《ベルリオーズ：ファウストの劫罰》にCelestial Voiceで出演し、その透き通るような声で存在感を示した(当演奏会はBBC Radioで放送され、The Telegraphにて五つ星評価を得た)。よんでん文化振興財団、Sidney Perry Foundation 奨学生。令和四年度文化庁新進芸術家海外研修員。

松岡あさひ(ピアノ) Asahi Matsuoka, Piano

ドイツ・デュッセルドルフ生まれ。幼少よりピアノ、作曲を学ぶ。東京藝術大学音楽学部作曲科首席卒業。同時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。2011年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位。2012年より、文化庁新進芸術家海外研修員としてシュトゥットガルト音楽演劇大学に留学し、作曲のほかオルガン演奏法を学ぶ。作曲家としてはピアノ、オルガン、チェンバロを含む鍵盤楽器のための作品や音楽作品を中心に多数の委嘱を受け活動しているほか、弦楽合奏団「石田組」などの編曲も手掛ける。また、音楽を中心とする分野の伴奏者としても多くの演奏家の信頼を得ている。共著書に『オルガン奏法 ― パイプでしゃべろう! パイプで歌おう!』(道和本社)ほか。東京藝術大学演奏芸術センター准教授、日本ドイツリート協会会員。

©CMR-Photography

〈車椅子でご来場の方のお席について〉

車椅子席の方は、本人と付き添いの方1名までが割引となります。必ず事前にご予約ください。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

〈次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求めください〉①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。②お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はいたしません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏会には入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお、ご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定席です。券面に記載された指定のお席でご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますので、お断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合があります。